

# 前年度協議事項の取組み状況について

平成 29 年 11 月 7 日  
北九州市教育委員会



# I 子どもたちが文化芸術・スポーツに触れ、学ぶ取り組み

## 1 平成28年度の主な実績と平成29年度の取組み

### (1) 北九州市中学生文化芸術祭

中学生の文化活動の充実を図るとともに、本市の文化的風土を醸成するため、「中学生合唱フェスティバル」、「連合音楽会」、「文化総合発表会」を一体の芸術祭として市内各所で順次開催しました。

#### 【28年度実績】

○連合音楽祭《平成28年11月4日～8日開催》

場所…各区で開催 参加・観覧…延べ5,635名

○中学校文化総合発表会《平成28年11月5日開催》

場所…ウェルとばた 参加…延べ850名

内容…吹奏楽、合唱、箏曲等のステージ発表 書写、絵画、家庭科作品等の展示

○中学生合唱フェスティバル《平成29年2月4日開催》

場所…アルモニーサンク北九州ソレイユホール

参加…中学校22校、小学校6校 児童生徒461名、入場者数約1,300名



中学生合唱フェスティバル

### (2) シビックプライド講座

本市の教職員及び教職を志す大学生向け講座「自主講座」に、保護者や市民の方々も参加できる「シビックプライド講座」を開催しています。

#### 【28年度実績】

・講座概要 … 平成28年5月～11月（全9講座）

（「世界が注目！ロボット村」、「北九州市立美術館の40年」、「世界遺産登録への長い長い道のり」 など）

・参加者数 … 376名（教員等255名、市民・保護者121名）

※平成29年度は6講座を実施中

（「ギラヴァンツ北九州！地元根付くスポーツ文化」、「漫画の街北九州で漫画家体験」 など）

### (3) 29年度新規美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」〔市民文化スポーツ局〕

小学3年生を対象に、市立美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施します。すぐれた美術品の鑑賞に加え、世界的建築家が設計した本館、閑静な丘陵から海まで見渡せる美術の森公園の眺望などの体験を通して、子どもたちの想像力と感性を育むとともにシビックプライドの醸成を図ります。

#### 【29年度実施内容】

・八幡東区、戸畑区の小学校19校を対象にモデル実施



北九州市立美術館

#### (4) 子どもを対象とした文学への取組み〔市民文化スポーツ局〕

森鷗外や火野葦平、林芙美子、松本清張などゆかりの深い著名な文学者を多く輩出している本市では、子どもを対象とした文学賞を開催し、子どもたち自身が「文学の街・北九州」を発信する一翼を担っています。

【子ども（小中学生）を対象とした文学賞〔応募点数〕】

- ・子どもノンフィクション文学賞 28年度 1,202点
- ・あなたにあいたくて生まれてきた詩コンクール 28年度 973点 など

#### (5) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を学ぶ取組み〔企画調整局〕

子どもたちを対象に、本市の世界遺産に興味をもち、理解を深めるため「世界遺産のある街・北九州市」をテーマにした各種事業を実施しています。

【29年度実施内容】

##### ○夏休みポスターコンクール

対象…市内小中学校に通う児童生徒

応募点数…72点（小52点、中14点ほか）

※眺望スペースで「写生イベント」開催（8/19）

##### ○親子バスツアー

実施時期…8月12日・26日に計4回

参加者数…65組 151名が参加

##### ○北九州市の世界遺産への社会見学誘致

参加校数…小学校10校 20クラス（予定）



旧本事務所眺望スペース

#### (6) 29年度新規オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業

2020年に向けて、オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、スポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業（文部科学省）」を実施しています。

【29年度実施内容】

- ・実施概要…推進校20校（小学校13校、中学校6校、幼稚園1園）を指定し、実践研究等に取り組む
- ・実践研究…①オリンピック・パラリンピックに関する知識、大会を支える仕組みを学ぶ  
②本市ゆかりのオリンピック・パラリンピアン、スポーツ選手等による講演、実技及び体験授業（※市民文化スポーツ局と連携・協力して実施） など

## 平成 28 年度 部活動などでの主な実績

### 国 体 (国民体育大会)

北九州市立高校・・・ウエイトリフティング  
(少年男子 53kg 級)  
菅生中学校・・・水泳 (少年男子 B)  
飛幡中学校・・・体操競技 (少年女子)

### インターハイ (全国高等学校総合体育大会)

北九州市立高校・・・陸上競技  
(女子 5000m 競歩 1位、800m)

### 全国高校ダンス部選手権

北九州市立高校 優秀賞

### 全日本マーチングコンテスト

木屋瀬中学校 銀賞

### 全日本合唱コンクール

二島中学校 銅賞

### 全国中学校体育大会

【団体】

二島中学校…バスケットボール (女子 3位)  
折尾中学校…バスケットボール (女子)  
大蔵中学校…柔道 (男子 3位)

【個人】

浅川中学校…陸上競技  
(男子 800m、1500m、3000m、女子 1500m)  
水泳競技 (男子 400m フリーリレー)  
体操競技 (男子)  
霧丘中学校…陸上競技 (女子四種競技、共通 100mH)  
柳西中学校…陸上競技 (女子 200m)  
花尾中学校…陸上競技 (男子 3000m、女子砲丸投げ)  
守恒中学校…陸上競技 (男子 1500m、女子 1500m)  
バドミントン (男子)  
広徳中学校…陸上競技 (男子 3000m)  
大蔵中学校…柔道 (男子+90kg 2位、-73kg)  
若松中学校…柔道 (男子-60kg)  
曾根中学校…柔道 (男子-81kg)  
菅生中学校…水泳競技  
(男子 50m 自由 3位、100m 自由 5位、100m バッテ、  
女子 50m 自由、100m バッテ)  
飛幡中学校…体操競技 (女子)

## 2 今後の方向性について

### (1) 小学生を対象とした「合唱」の取組みの充実

「中学生合唱フェスティバル」にゲスト出演する小学校が増加している等、小学校における合唱への機運の高まりを踏まえ、『合唱の街・北九州』への関わりを強めるためにも、新たに小学生を対象とした合唱フェスティバルの開催を検討します。

### (2) 美術鑑賞教室の拡充

平成 29 年 11 月の市立美術館リニューアルオープンを契機に開始する『美術鑑賞教室「ミュージアム・ツアー」』について、来年度以降は通年での事業展開が可能となることから、全ての小学 3 年生が参加できるよう、全校実施について検討します。

### (3) 子ども図書館の設置

子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」について、併設される本市ゆかりの児童文学者を顕彰するコーナーを含め、平成 30 年度内の開館に向けて、ハード整備及び運営・機能等のソフト面の準備を着実に進めます。

### (4) オリンピック・パラリンピックへの理解促進

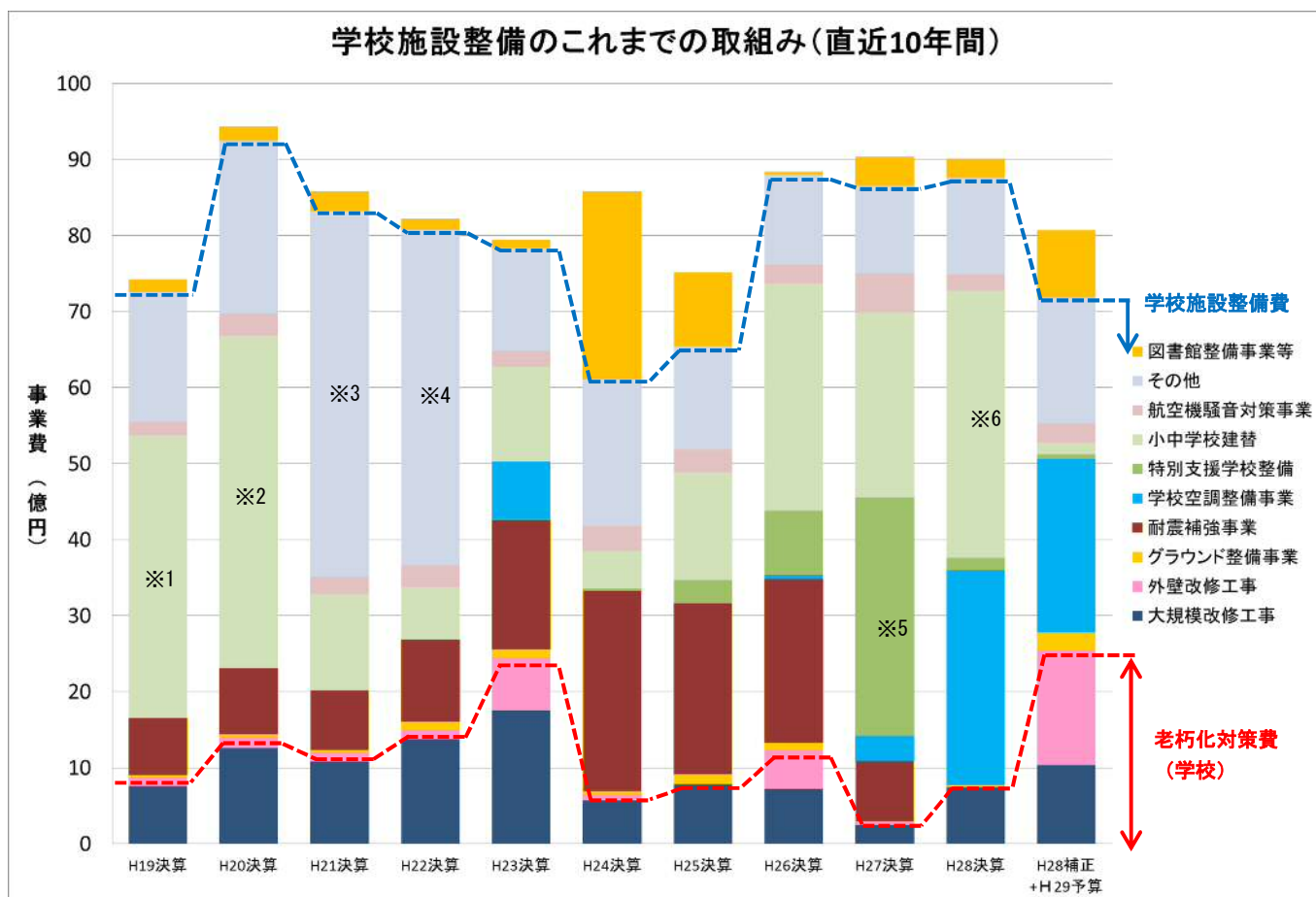
より多くの子どもたちに、オリンピック・パラリンピアンや一流のスポーツ選手に直接触れることなどを通して、オリンピックやパラリンピックについての理解を深める機会を提供するため、推進校の拡充を検討します。

## Ⅱ 学校施設の整備について

### 1 これまでの取組みと平成29年度の取組み

学校施設の整備については、平成19年度からの「耐震補強事業」、平成24年度からの「特別支援学校整備」、平成26年から普通教室への「エアコン設置」（学校空調整備事業）など、その時々の優先的行政課題に取り組み、児童・生徒の安全、教育環境の向上に努めています。

児童・生徒の学校生活の安全・安心を確保するためには、外壁改修や大規模改修などの老朽化対策を実施していくことが重要であると考え、平成29年度については、国の平成28年度第二次補正予算を活用し、近年で最大規模の老朽化対策事業を実施しているところです。



※1 深町小学校、清水小学校、牧山小学校、黒崎中央小学校

※2 思永中学校、黒崎中央小学校、大谷小学校、井堀小学校

※3 太陽光発電、地デジ対応、給食室関連、さわやかトイレ

※4 太陽光発電、給食室関連、さわやかトイレ

※5 門司総合特別支援学校、小倉総合特別支援学校

※6 ひびきの小学校

## 2 平成29年度の老朽化対策にかかる取組み状況

	老朽化対策事業費
平成28年度 12月補正予算	(外壁改修) 5億2,040万円 7校で外壁改修工事を実施する。 〔 小学校5校、中学校2校 〕 (大規模改修) 7億2,970万円 4校で大規模改修工事を実施する。 〔 小学校3校、中学校1校 〕
平成28年度 2月補正予算	(外壁改修) 9億710万円 9校で外壁改修工事を実施する。 〔 小学校3校、中学校6校 〕 (大規模改修) 2億700万円 1校で大規模改修工事を実施する。 〔 中学校1校 〕
平成29年度 当初予算	(外壁改修) 7,800万円 15校の実施設計を行う。 〔 小学校11校、中学校2校、 特別支援学校2校 〕 (大規模改修) 1億100万円 7校の実施設計を行う。 〔 小学校6校、中学校1校 〕 4校の基本設計を行う。 〔 小学校3校、中学校1校 〕
合計	(外壁改修) 15億550万円 (大規模改修) 10億3,770万円

## 3 今後の方向性について

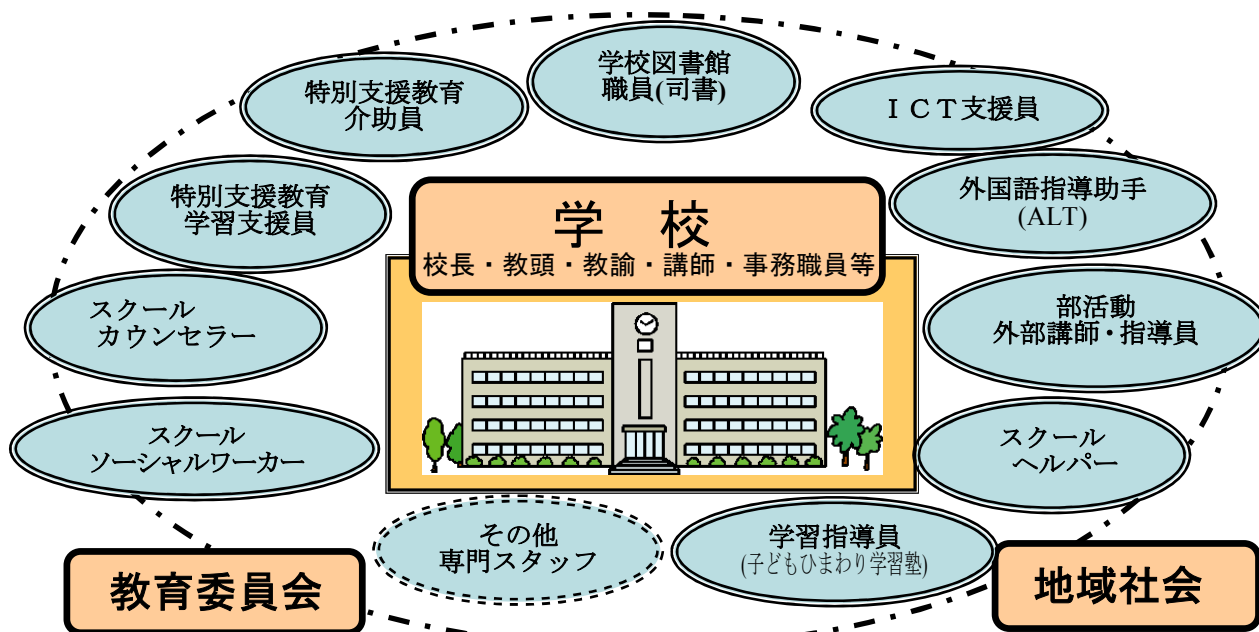
施設管理のあり方として、施設に不具合があった場合に修繕を行う「事後保全」から、不具合が発生する前にメンテナンスを施す計画的な「予防保全」へ転換することが求められています。

学校施設における児童・生徒の安全・安心の確保や教育環境の向上を図るために、計画的に予防保全型老朽化対策を進めていきたいと考えています。

### Ⅲ 「チームとしての学校」のあり方について

#### 1 「チームとしての学校」の推進について

学校において、多様な専門性を持つスタッフ等と連携・分担する体制を整備し、学校の機能強化を図る。(⇒教員の負担軽減と児童生徒に対する専門的対応の充実)



#### 2 平成29年度の主な進捗状況

##### (1) スクールソーシャルワーカー (SSW) の拡充 (9人⇒12人)

- ・家庭環境を要因とした児童生徒の問題行動について、福祉の専門的な知識に基づき、関係機関と連携しながら早期解決を図っていくためSSWを拡充した。
- ・併せて、SSWの配置の在り方を見直し、教育委員会に在籍し、学校からの支援要請に応じて派遣する「派遣型」(9人)に加え、学校を拠点として活動する「配置型」(3人)を併用することで体制の充実を図った。

##### (2) 学校図書館職員 (司書) の拡充 (38人⇒44人)

- ・読書活動やアクティブ・ラーニングを推進する上で、学校図書館は重要な役割を担っており、学校図書館職員 (司書) の配置を拡充し、読書環境の整備を図った。

##### (3) 特別支援教育学習支援員の拡充 (10人⇒19人)

- ・通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対して、学習補助を行う支援員を拡充し、教育的ニーズに応じた学習環境の整備を図った。



#### (4) 部活動指導員の配置（新規・15人）

- ・教員の部活動指導に関する負担を軽減し、長時間勤務の改善を図ることを目的として、顧問教員に代わって、土・日・祝日の部活動指導や練習試合等の引率業務を単独で担うことができる「部活動指導員」を新たに配置した。

#### ※上記以外の主な専門スタッフの配置状況

専門スタッフ	平成28年度配置状況	平成29年度配置状況
スクールカウンセラー	1中学校区 週8時間～16時間	同左
ICT支援員	月1回	同左
外国語指導助手（ALT）	81人	83人
学習指導員（子どもひまわり学習塾）	約600人	同左
スクールヘルパー	14,779人 （H27実績）	16,630人 （H28実績）
部活動外部講師	247人	260人（予定）
特別支援教育介助員	21人	同左

### 3 今後の方向性について

教員の一層の負担軽減と専門性にもとづく対応の充実を図るため、特に以下の取組を推進していく。

#### (1) スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー

- ・長期欠席・不登校の児童生徒が増加傾向にあること等を踏まえ、児童生徒の心理的な要因や家庭環境に要因がある場合に、適切な対応が図られるよう生徒指導体制の整備を図っていく。

#### (2) 学校図書館職員（司書）

- ・「新・北九州子ども読書プラン」に掲げた目標（平成32年度までに63人）に向けて引き続き、読書環境の整備を図っていく。

#### (3) 部活動での外部人材の活用

- ・部活動指導員など、部活動指導における外部スタッフの一層の活用を図り、教員の部活動指導における負担軽減を図っていく。

#### (4) 弁護士（スクールロイヤー）の活用

- ・いじめ防止の推進や、学校の法的課題に対する教員の対応能力向上に向けて、弁護士（スクールロイヤー）の活用について検討を行っていく。